

【参考資料】

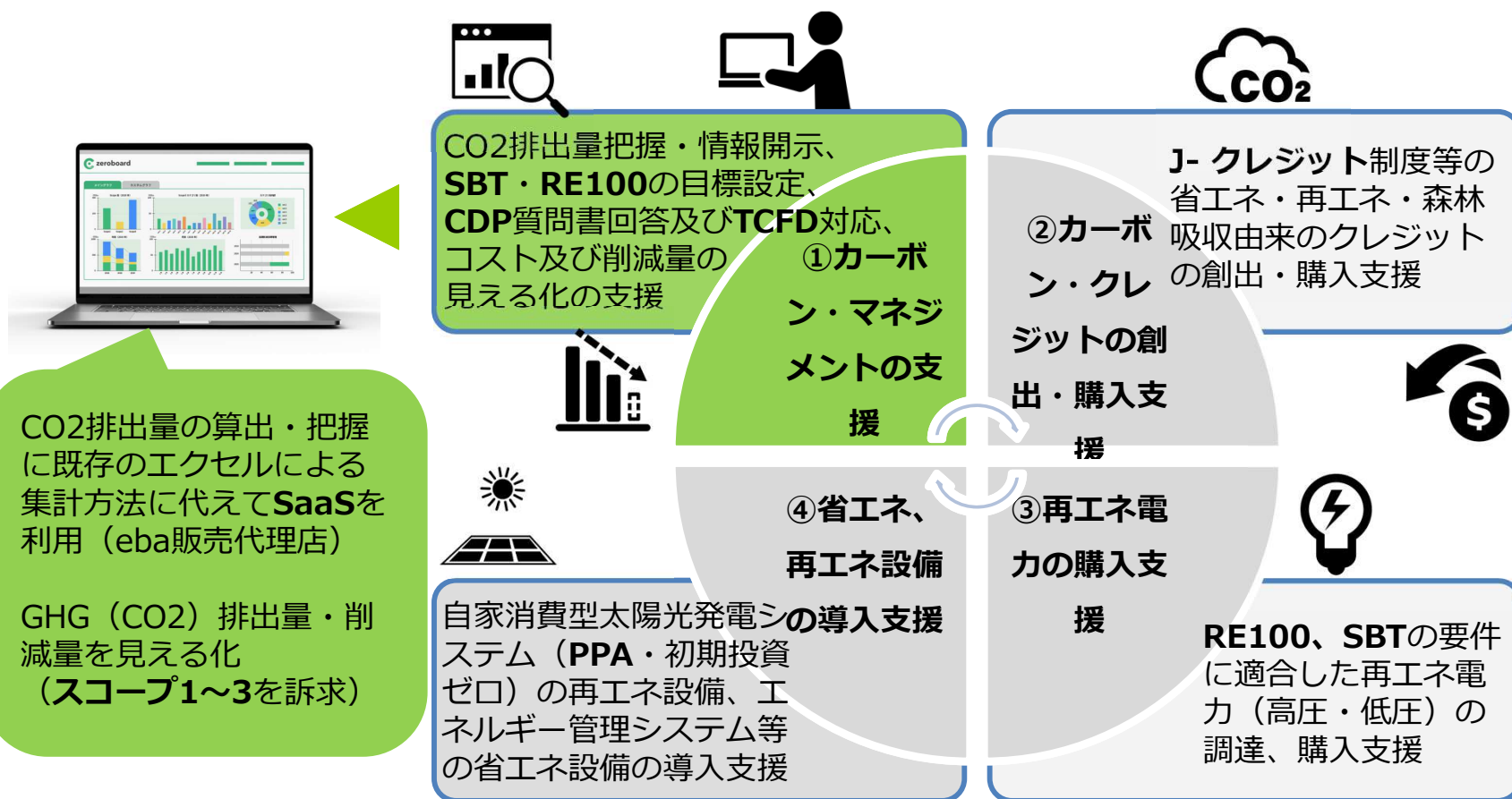
カーボンニュートラル（CN） グラントデザイン策定支援

-アドバイザーサービス-

2022年01月27日

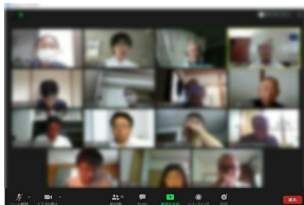
(株)環境ビジネスエージェンシー（略称 eba）

1. 脱炭素経営ソリューションサービス



弊社ebaは、上記①~④の個別のソリューションサービスの導入提案の他に、お客様の持続的な企業価値向上のため、サステナビリティ・脱炭素経営全般の継続的なサポート、アドバイスを行うことを目的とした、「アドバイザリーサービス」の提供が可能！

2. アドバイザリーサービス



アドバイザリーサービス (継続的サポート、年間契約)

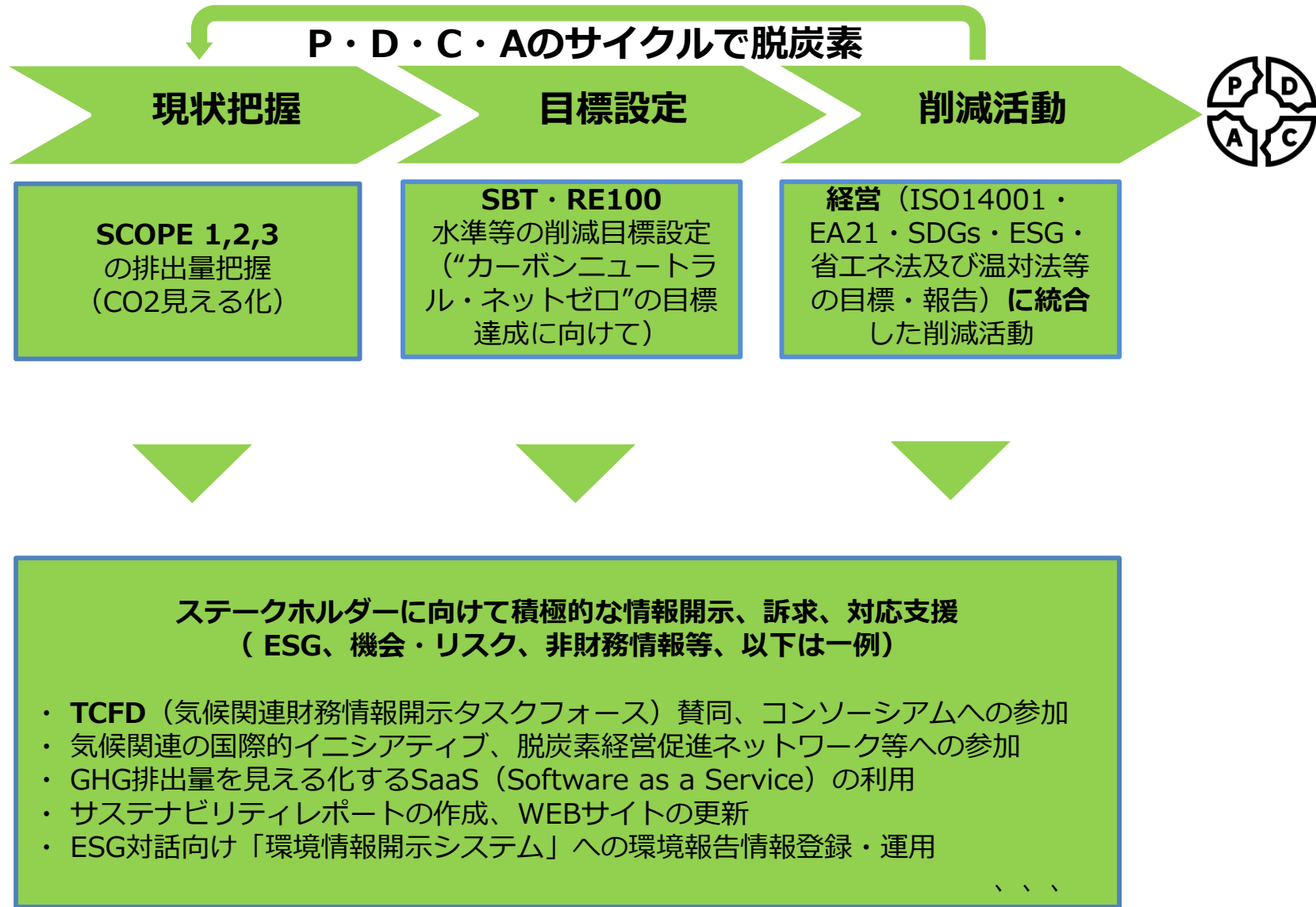


ヒト、モノ、カネ、情報、あらゆる環境・経営資源のコーディネートや継続的なサポートが可能。
必要に応じて定例会（オンサイト or オンライン）を開催し、お客様の下記（例）のプロジェクトをサポート。

※メニュー例は以下No.1~13のとおり（その他ご相談）
※毎月の想定実働時間に応じた、月額利用料を予め設定

1. クライアント向け電子会議室（メーリングリスト）の設置、定例会開催（プロジェクト推進）
2. 脱炭素経営、カーボン・マネジメント（GHG排出量算定、中長期削減計画策定、TCFD対応等）の支援
3. GHG排出量を見える化するSaaS（Software as a Service）の提供
4. GHG排出量の第三者評価・検証（提携検証機関で第三者検証）
5. カーボン・クレジットの創出・購入支援
6. 再エネ電力の購入支援（電力小売り仲介等）
7. 省エネ、再エネ設備の導入支援（自家消費型発電サービスの仲介等）
8. 企業価値（外部評価）向上に関わる各種施策の検討・抽出・取組み支援
9. 環境経営・CSR・サステナビリティレポート、WEBサイト等での効果的な情報開示に関する支援
10. ESG対話向け「環境情報開示システム（環境省）」への環境報告情報登録、システム運用等の支援
11. SDGs × マネジメントシステム（ISO14001, 9001）の仕組み運用・取組み等に関する支援
12. 社会貢献活動プログラム（森林再生・地域復興プロジェクト等）への参画サポート
13. 事業活動に伴う環境法令順守（コンプライアンス）をサポート、環境行政情報の提供

3. 基本的な進め方 (1/2)



3. 基本的な進め方 (2/2) (スケジュール感の例)

～2022/01
弊社提案・御社検討
キックオフミーティング

ステップ1

①アドバイザー
サービス提案
CNグランドデザインの
草案提出 (要相談)



具体的な草案の内容は、
・ヒアリングシート
・現地1日省エネ・再エネ診断
の情報・結果を基にご提案

～2022/03
御社「中長期計画 (3ヶ年)」策定

ステップ2

②中長期経営目標・
計画策定支援
CNグランドデザイン
のディスカッション
(要相談)



必要な情報や資料は
出来る限り情報共有

アドバイザーサービスでは、ステップ1～4まで対応可能。
例えば、ステップ2までに以下の①～④を支援
①Scope1、2の算定・削減施策の評価・見直し
②現場への具体的なアクションの落とし込み
③活動モニタリング・評価の仕組み作り
④Scope3に関する取組み方針の決定、CN宣言サポート
※スライドP7～10の個別具体的な支援内容は、ご参考内容です。

～2022/04
御社「中長期計画 (3ヶ年)」
発表・スタート

ステップ3

③CNグランドデザイン
の具体的な取組み
全般の支援



定期的にアドバイザー
実績 (時間) を報告

必要に応じて、
支援メニューを変更・追加・削除

～2022/12
御社「中長期計画 (3ヶ年)」
の進捗状況の確認

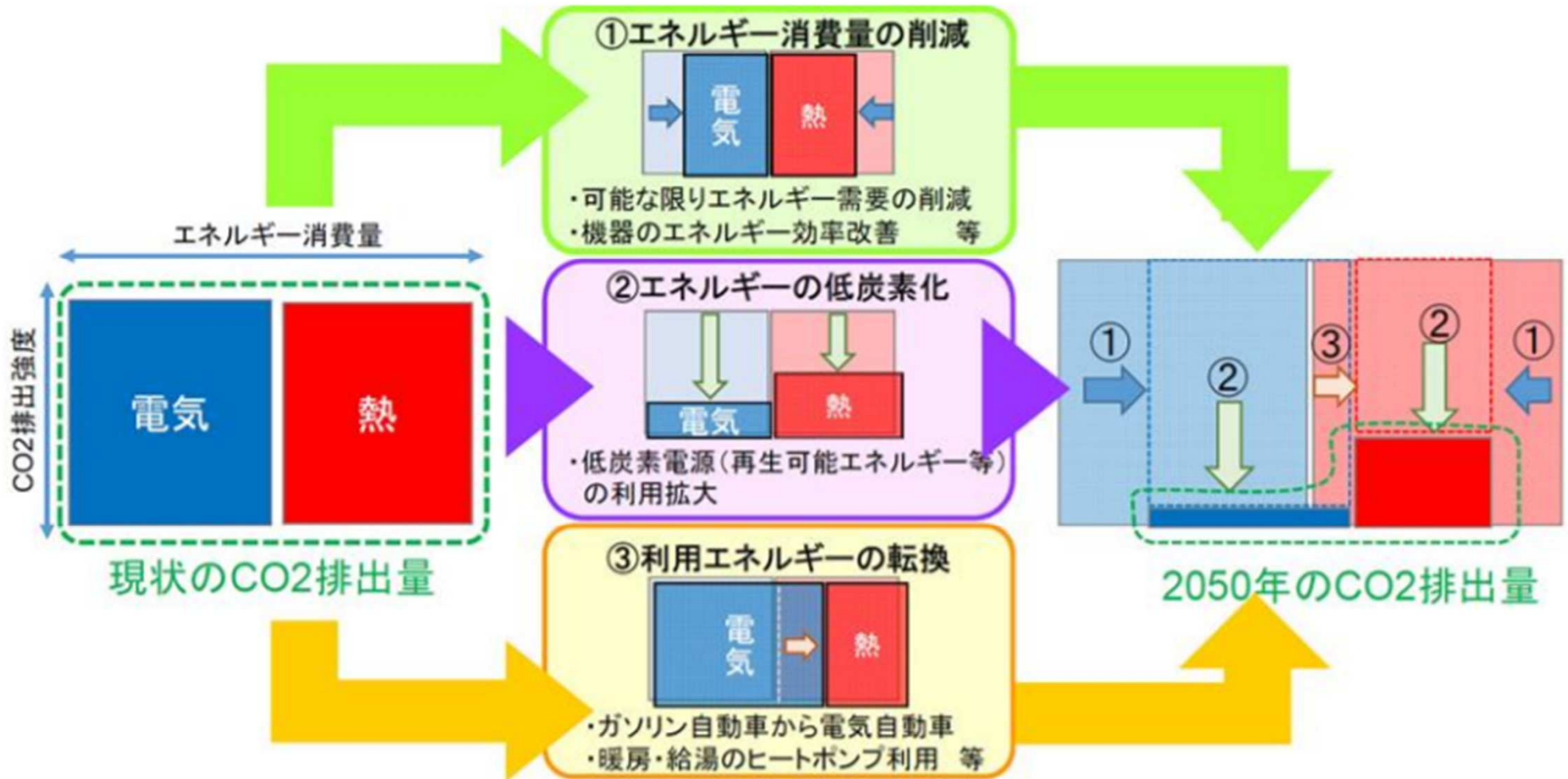
ステップ4

④CNグランドデザイン
の具体的な取組み状
況のレビュー



CNとは、カーボン・ニュートラルの略称

脱炭素化に向けた基本的な考え方



【出所】 環境省「中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック（2021年3月）」から抜粋
http://www.env.go.jp/earth/SMEs_handbook.pdf

4. CNグランドデザインの例

～2022/01
弊社提案・御社検討
キックオフミーティング

ステップ1

①アドバイザーサービス提案

CNグランドデザインの
草案提出（要相談）



具体的な草案の内容は、
・ヒアリングシート
・現地1日省エネ・再エネ診断
の情報・結果を基にご提案

CNとは、カーボン・ニュートラルの略称

CNグランドデザインの 草案作成の進め方

STEP1 長期的なエネルギー転換の方針の検討

STEP2 短中期的な省エネ対策の洗い出し

STEP3 再生可能エネルギー電気の調達手段の検討

STEP4 削減対策の精査と計画へのとりまとめ

ヒアリングシート調査

年月	省エネ設備	投資額	削減効果	投資回収年	省エネ効果	削減効果
2022年01月	LED照明	100,000	10%	10年	10,000	10%
2022年02月	エアコン	200,000	15%	13.3年	30,000	15%
2022年03月	照明器具	150,000	12%	12.5年	18,000	12%
2022年04月	空調設備	500,000	20%	25年	100,000	20%
2022年05月	省エネ器具	80,000	8%	10年	6,400	8%
2022年06月	照明器具	120,000	10%	12年	12,000	10%
2022年07月	空調設備	300,000	15%	20年	45,000	15%
2022年08月	照明器具	90,000	9%	10年	8,100	9%
2022年09月	空調設備	400,000	18%	22.2年	72,000	18%
2022年10月	照明器具	110,000	11%	10年	12,100	11%
2022年11月	空調設備	350,000	16%	21.9年	56,000	16%
2022年12月	照明器具	100,000	10%	10年	10,000	10%
2022年12月	照明器具	150,000	12%	12.5年	18,000	12%
2022年12月	空調設備	450,000	18%	25年	81,000	18%
2022年12月	照明器具	130,000	11%	11.8年	14,300	11%
2022年12月	空調設備	380,000	17%	22.4年	64,600	17%
2022年12月	照明器具	120,000	10%	12年	12,000	10%
2022年12月	空調設備	420,000	19%	22年	80,000	19%
2022年12月	照明器具	100,000	10%	10年	10,000	10%
2022年12月	空調設備	380,000	17%	22.4年	64,600	17%
2022年12月	照明器具	110,000	11%	10.9年	12,100	11%
2022年12月	空調設備	400,000	18%	22.2年	72,000	18%
2022年12月	照明器具	130,000	11%	11.8年	14,300	11%
2022年12月	空調設備	450,000	18%	25年	81,000	18%
2022年12月	照明器具	120,000	10%	12年	12,000	10%
2022年12月	空調設備	420,000	19%	22年	80,000	19%
2022年12月	照明器具	100,000	10%	10年	10,000	10%
2022年12月	空調設備	380,000	17%	22.4年	64,600	17%
2022年12月	照明器具	110,000	11%	10.9年	12,100	11%
2022年12月	空調設備	400,000	18%	22.2年	72,000	18%
2022年12月	照明器具	130,000	11%	11.8年	14,300	11%
2022年12月	空調設備	450,000	18%	25年	81,000	18%

4. CNグランドデザインの例

～2022/03
御社「中長期計画（3ケ年）」策定

ステップ2

②中長期経営目標・計画策定支援
CNグランドデザインのディスカッション
(要相談)

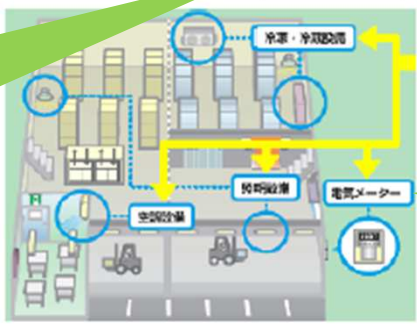
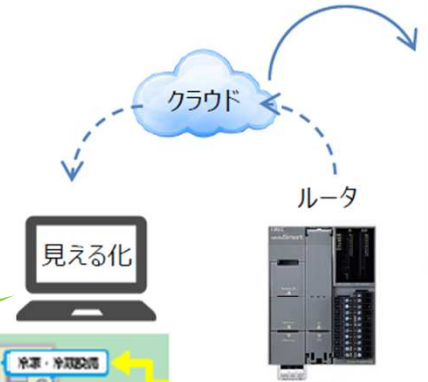
対策	対策実施年	計画期間（年）										費用等
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
対策① (省エネ：運用改善)	2021年	実施										排出削減量：x 投資金額：なし 光熱費・燃料費増減額：a
対策② (設備更新)	2025年			工事					実施			排出削減量：y 投資金額：B 光熱費・燃料費増減額：b
対策③ (再エネ電気メニューへの切替)	2023年										実施	排出削減量：z 投資金額：なし 光熱費・燃料費増減額：c
排出削減量		x	x	x+z	x+z	x+y+z	x+y+z	x+y+z	x+y+z	x+y+z	x+y+z	
キャッシュフロー[千円]		a	a	a+c	a+c	B+a+b+c	a+b+c	a+b+c	a+b+c	a+b+c	a+b+c	



必要な情報や資料は出来る限り情報共有

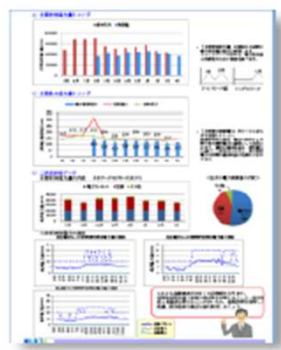
EIA3 (EMS (エネルギーマネジメントシステム) 見える化) は別途見積必要

データ分析 → レポート報告

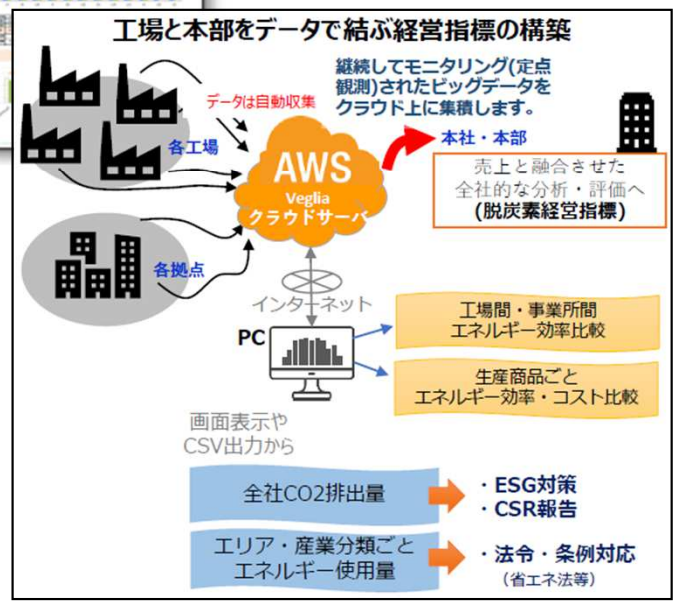


エネルギー使用状況ライン

現地1日省エネ・再エネ診断を行い、EIA3 (EMS (エネルギーマネジメントシステム)) による見える化の対象 (施設・設備等) の検討・選定



EMS導入によって見える化された情報を分析し、より確度の高い「中長期経営目標・計画策定」が可能



CNとは、カーボン・ニュートラルの略称

environmental business agency

4. CNグランドデザインの例

～2022/06
御社「中長期計画（3ヶ年）」
発表・スタート

ステップ3

③CNグランドデザインの具体的な取組み全般の支援



定期的にアドバイザー実績（時間）を報告



公の補助金、助成金の活用も想定

CNとは、カーボン・ニュートラルの略称

対策タイプ	実施対策例
運用改善	空調機のフィルター、コイル等の清掃
	空調・換気不要空間への空調・換気停止、運転時間短縮
	冷暖房設定温度・湿度の緩和
	コンプレッサーの吐出圧の低減
	配管の空気漏れ対策
	不要箇所・不要時間帯の消灯
部分更新・機能付加	空調室外機の放熱環境改善
	空調・換気のスケジュール運転・断続運転制御の導入
	窓の断熱性・遮熱性向上（フィルム、塗料、ガラス、ブラインド等）
	蒸気配管・蒸気バルブ・フランジ等の断熱強化
	照明制御機能（タイマー、センサー等）の追加
	ポンプ・ファン・ブローの流量・圧力調整（回転数制御等）
設備導入	高効率パッケージエアコンの導入
	適正容量の高効率コンプレッサーの導入
	LED照明の導入
	高効率誘導灯（LED等）の導入
	高効率変圧器の導入
	プレミアム効率モーター（IE3）等の導入
	高効率冷凍・冷蔵設備の導入
	高効率給湯機の導入

公の補助金、助成金の活用も想定



再エネを調達する手段	概要	長所	短所
小売電気事業者との契約（再エネ電気メニュー）	自然エネルギー100%の電力を購入	<ul style="list-style-type: none"> 当該プランの購入契約のみで調達が可能のため、取引コストが相対的に低い 小口でも調達可能 大口向けに、個別のプランを提供する小売電気事業者もある 	<ul style="list-style-type: none"> 電力購入先の切り替えが必要となるため手続きが多い 拠点が複数地域にまたがる場合は拠点ごとの検討が必要 契約電力会社の再エネ調達力に依存するため、将来の調達リスクがある
自家発電・自家消費	発電設備を事業所敷地内に設置・運転し、発電した電力を自家消費	屋根や遊休地の活用が可能	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所の確保が必要 稼働まで期間を要するため、即座に調達できない 継続的なメンテナンスが必要
第三者所有モデル（※自家消費の1類型）	第三者が、発電設備を事業所内の屋根・敷地等に設置し、その発電した電力を購入	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス等の手間が不要 系統電力よりも安く設定されるため電気代の削減が可能 	工事等への対応が必要
再エネ電力証書等の購入	自然エネルギーの電力が生み出す環境価値を証書で購入	<ul style="list-style-type: none"> 複数拠点の再エネ化の一括実行が可能 電力購入先の切り替えなしに再エネ価値を調達可能 長期契約が不要で、市況に応じて購入判断が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 価格変動があり、かつ、相対的に高価 現時点で流通量が限定的

4. CNグランドデザインの例

～2022/12
御社「中長期計画（3ケ年）」
の進捗状況の確認

ステップ4

④CNグランドデザイン
の具体的な取組み状
況のレビュー



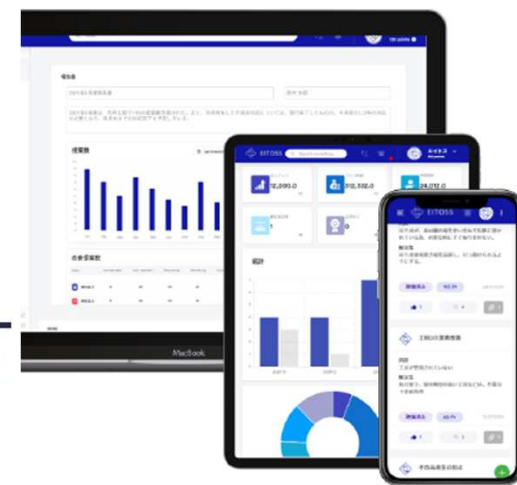
必要に応じて、
支援メニューを変更・
追加・削除

ステップ1～4の取組みについて、
デジタル改善プラットフォーム「Cayzen」を
コミュニケーションツール（御社・弊社）として活用し、
脱炭素経営の取組みを促進する。

Cayzenは、業務改善、品質改善、不具合対策、クレーム対策、安全衛生改善、環境改善など、あらゆる現場の改善活動の課題をワンストップで対応が可能。

改善課題分析のデータ収集～報告までワンストップ

PC/タブレット/スマホで利用可能



CNとは、カーボン・ニュートラルの略称

5. デジタル改善プラットフォーム「Cayzen」 (1/2)



現場課題・データ元集約

日報や報告書等の情報の電子化・外部ツールとの連携で、改善課題を抽出するためのデータベースを構築



入力フォーム作成機能

日報・帳票を電子帳票化



✓ 紙の運用では、転記が必要な日報・帳票・その他報告書等の入力フォームを、プログラミング不要でフォーマット作成が可能です

課題募集機能

現場から課題報告を収集



✓ 現場が気づいた定性的な課題を吸い上げ、写真や動画などと合わせて登録することができます

データベース管理・編集

現場データを一元管理



✓ 現場の日報・帳票のデータ入力による実績のデータベースに加え、計画や見込み数値との差異を集計することができます

改善提案

課題に対する改善提案の募集やアイデア提案の集約・分析



改善提案フォームカスタマイズ機能

各社に合わせた提案用紙



✓ 改善提案のフォームもフルカスタマイズ可能のため、各社に合わせた提案管理が可能

アイデアの効果・件数の自動集計機能

改善活動の効果集計自動化



✓ 活動状況が見える化されて、効果や件数をユーザー別・チーム別にフィルタリングして管理可能

リアクション機能

改善活動のコミュニケーション活発化



✓ いいね！などのアクションを送れることで、改善提案を称賛する文化の醸成が可能

実行管理・報告業務効率化

改善案の実行管理や、改善施策や計画に対する進捗状況の報告・共有



今秋機能リリース予定

報告フォーム作成機能

報告書作成を自動化



✓ 課題の発生や改善施策の進捗等の報告書も簡単に作成。毎月固定のデータであれば自動作成可能

タスク管理機能

タスク管理で実行率向上



✓ 改善施策のタスク管理のため、To Doや役割、期限管理が可能（役員から現場までいづれが何をすべきか見える化）

期限アラート機能

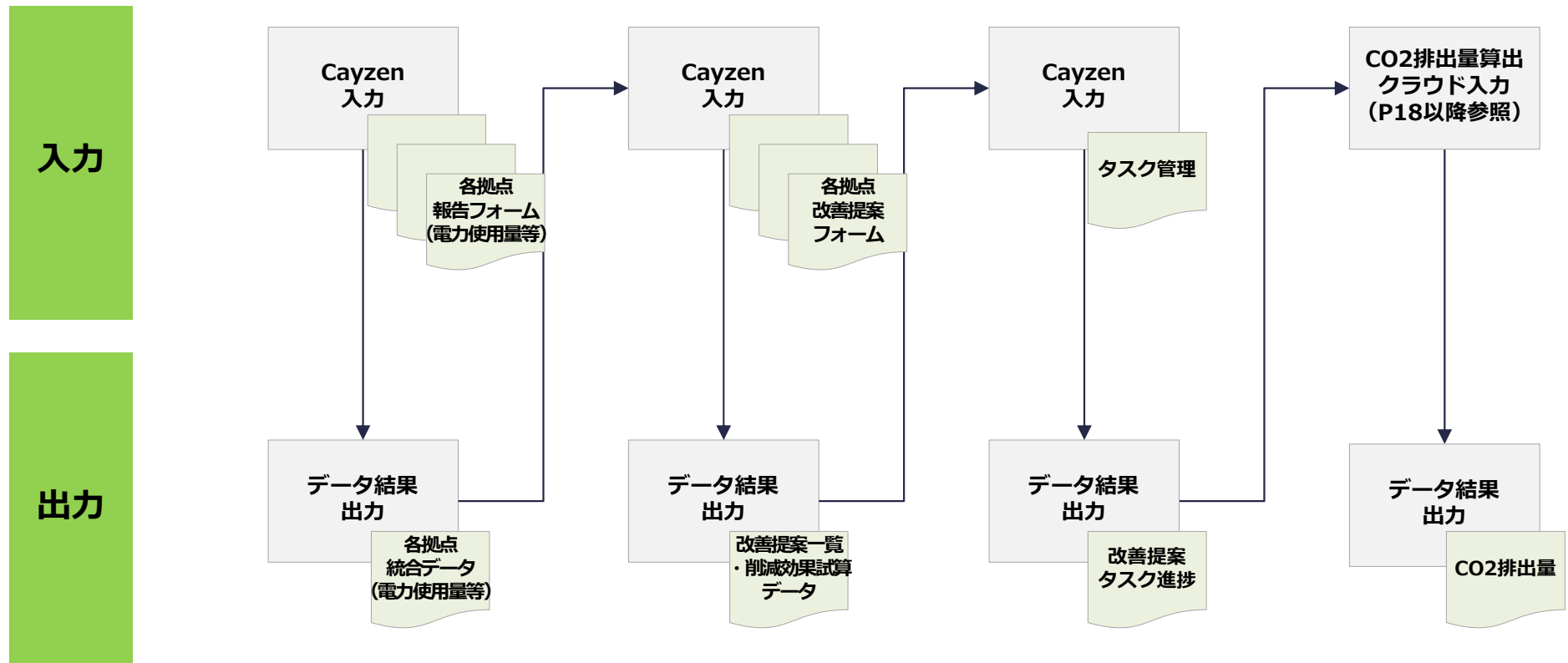
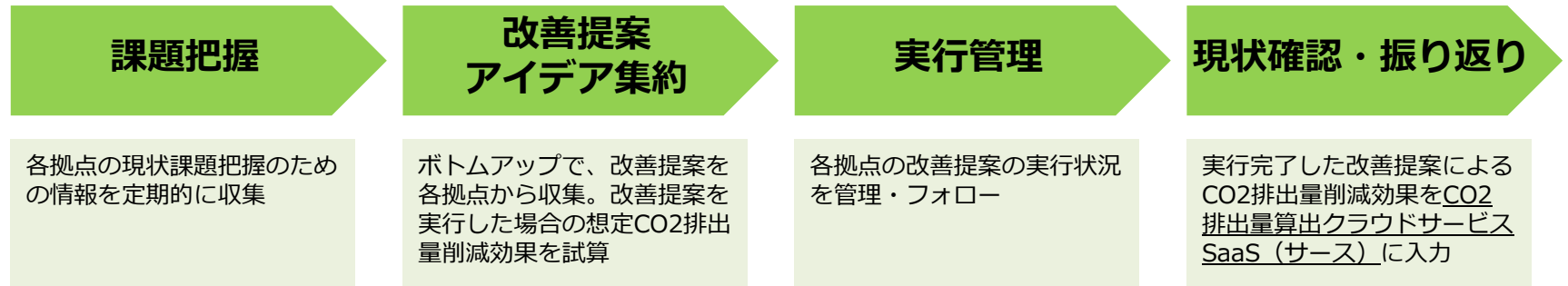
期限漏れを防止



✓ 期限が近づいてきたタスク等をアラートで出すことにより、タスク管理・実行率を向上

5. デジタル改善プラットフォーム「Cayzen」 (2/2)

脱炭素を促進する現場の改善アイデアを集約し、実行管理までワンストップで対応！



6. SaaS (Software as a Service) (1/3)

- ホーム
- 自社情報
- フラグ案分登録
- CO2見える化
- CO2排出登録
- ダッシュボード
- CO2オフセット
- マイパターン設定
- クレジット売買
- カーボンオフセットソリューション
- CO2削減活動管理
- トライアル版マニュアル
- 利用規約

弊社ebaでは、CO2排出量算出クラウドサービス SaaS (ソース) の提供を開始！
※ebaは、SaaSの開発・提供会社のパートナー



国際標準の「GHGプロトコル」に準拠した排出量を可視化可能であり、排出原単位データベース (IDEA) 最新DBを収録
※今後海外のDB収録予定

企業情報
株式会社環境ビジネスエージェンシー

種別	電話	Webサイト	企業情報所有者	業種	住所
	0332968655	https://ebagency.jp/	坂本 洋一		日本 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-3-12神田小川町ビル8階

▼ 企業基本情報

企業名	株式会社環境ビジネスエージェンシー	Webサイト	https://ebagency.jp/
電話	0332968655	Fax	03-3296-8656

▼ 追加情報

業種マスタ	R9599	事業規模	1,000万円~3,000万円未満
業種 (大分類)	R サービス業 (他に分類されないもの)	従業員数	7
業種 (中分類)	95 その他のサービス業	売上高	

言語は日本語、英語対応。(2022年6月より中国語予定)
各国の排出原単位をサポート

6. SaaS (Software as a Service) (2/3)

例えば、スコープ3 (カテゴリ11: 販売した製品の使用 (使用者による製品の使用)) のGHG (CO2) 排出量・削減量を見える化し、SDGs、ESG、カーボンニュートラルへの取組みのひとつとして訴求可能



ホーム > フラグ案分登録

ホーム
自社情報
フラグ案分登録
CO2見える化
CO2排出登録
ダッシュボード
CO2オフセット
マイパターン設定
クレジット売買
カーボンオフセットソリューション

スコープ3のカテゴリ11を選択可能
(販売した製品の使用 (使用者による製品の使用))
スコープ3とは?
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/supply_chain.html

	拠点	スコープ	カテゴリ	対象GHG	算定対象1	GHG (グリーンハウスガス) であるCO2等を選択可能	算定対象2	算定対象3	算定対象4
コピー	オフィス	Scope3	Category1	CO2	間接使用段				
コピー									
コピー									
コピー									
Other					案分マスタ無し				

行追加

フィードバックを送る

6. SaaS (Software as a Service) (3/3)

国際標準の「GHGプロトコル」に準拠した排出量を可視化可能であり、ダッシュボードで様々なカタチでGHG排出量を算出・把握し、管理出来る！

予め設定した算定対象項目に、活動量（実績値）を入力

設定ボタンで、原単位等を予め設定（都度変更も可能）

株式会社環境ビジネスエージェンシー

CO2排出量
 毎月時点
140 t-CO2
 2021年実績
 - t-CO2
168 t-CO2
 2021年実績
 前年比 - %

目標管理機能
現在準備中

2.5%削減
4.2%削減
3.0%削減

CO2排出登録

2021年 6月

CO2排出量の総合計 140 t-CO2

拠点	Scope	算定対象	ラベル	排出原単位	総CO2排出量	操作	区分設定	
オフィス	A	他人から供給された電気の使用	電気使用量	914 kWh	「電気使用1kWh当たりのCO2排出量」0.000525tCO2/kWh	0 t-CO2	設定 削除 削除	
		その他の廃棄	廃棄物の数量	0 t	「廃棄物の数量の単位当たりのCO2排出量」1tCO2/t	0 t-CO2	設定 削除 削除	
		出張	宿泊数	7 泊	「宿泊数1日当たりのCO2排出量」0.03153223799117tCO2/泊	0 t-CO2	設定 削除 削除	
		従業員の通勤	従業員数 勤務日数	7 人 20 日	「従業員数の単位当たりのCO2排出量」1tCO2/人日	140 t-CO2	設定 削除 削除	
	B	エネルギー使用製品の販売	製品の想定生涯使用回数 報告期間における販売数	0 回 0 p	「製品の想定生涯使用回数単位当たりのCO2排出量」0.01tCO2/回p	0 t-CO2	設定 削除 削除	
		エネルギー使用製品の販売	製品の想定生涯使用回数 報告期間における販売数	0 回 0 p	「製品の想定生涯使用回数単位当たりのCO2排出量」0.01tCO2/回p	0 t-CO2	設定 削除 削除	
		販売製品の廃棄	廃棄物の数量	0 t	「廃棄物の数量1t当たりのCO2排出量」1tCO2/t	0 t-CO2	設定 削除 削除	
	入力項目を追加							
						CO2排出量の合計	140 t-CO2	



7. ISO × SDGs ・ ESG ・ TCFD (1/2)

弊社ebaは、単なる脱炭素経営（GHG排出量把握等）のサポートのみを行うのではなく、大企業から中小企業まで、経営に統合して運用されている環境マネジメントシステム（ISO14001、EA21（エコアクション21））等の仕組みを活用したSDGs・ESG経営、脱炭素経営全般のサポートが可能。

- 《環境マネジメントシステム（ISO14001規格・項番）とSaaSとの関係：例》

ISO14001（PDCA 仕組み） × CO2排出量算出クラウドサービス SaaS（ソース）
を組合わせて、経営に統合した中長期削減目標・計画策定～目標達成！

- ・ 5.1 リーダーシップ及びコミットメント
- ・ 5.2 環境方針
- ・ 6.1 リスク及び機会への取組み
- ・ 6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定
- ・ 7.1 資源
- ・ 7.4 コミュニケーション
- ・ 8.1 運用の計画及び管理
- ・ 9 パフォーマンス評価



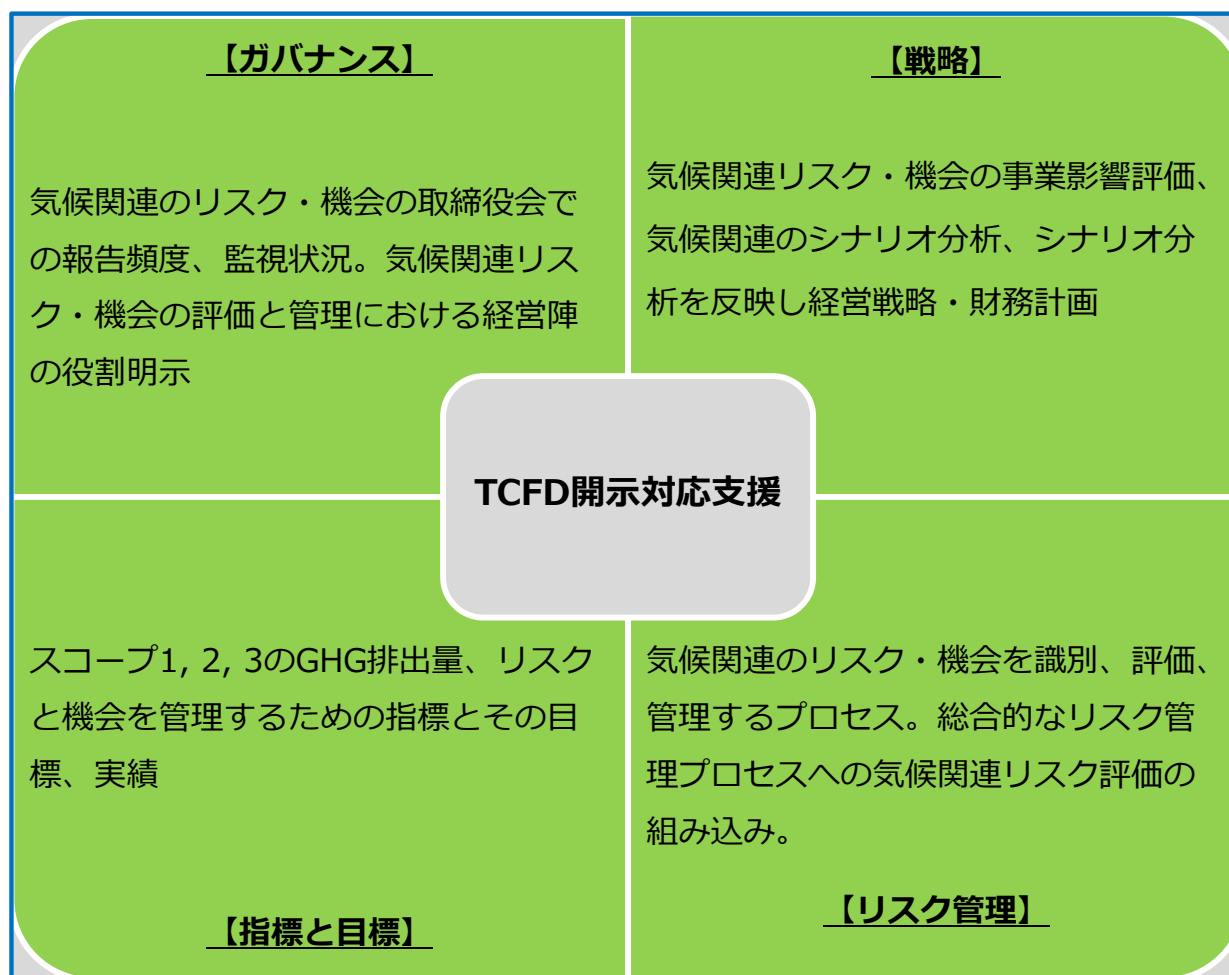
- 《環境マネジメントシステム（ISO14001規格）とコンサルの関係：例》

- ・ ISO14001（6.1） × TCFD（気候変動関連の機会・リスクの特定）コンサル
- ・ ISO14001（6.2, 8.1, 9） × GHG（排出量や削減量の把握）コンサル
- ・ ISO14001（5.1, 5.2, 6.1, 6.2, 7.4, 8.1） × CDP・TCFD・ESG（気候変動関連情報開示）コンサル

7. ISO × SDGs ・ ESG ・ TCFD (2/2)



アドバイザリーサービス（長期）でTCFDを含めた脱炭素経営をサポート



8. ebaの紹介

【会社概要】

- 1.会社名：株式会社環境ビジネスエージェンシー（略称：eba 非上場）
- 2.所在地：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル8階
- 3.代表者：代表取締役 鈴木 敦子、取締役 亀元 宏宣
- 4.設立：2005年9月
- 5.WEB：<https://ebagency.jp/> 環境法令.com：<https://kankyohourei.com/>
- 6.事業内容：環境・労働安全衛生（EHS）のコンプライアンス、ISO（ISO14001、45001、9001、27001）、サステナビリティ（持続可能性）、製品含有化学物質管理、CSR、CSV、SDGs、ESG、脱炭素等の各分野の専門家・パートナーの幅広いネットワークを活用した、現場経験豊富な専門家派遣によるコンサルティングが可能。また、環境コンプライアンス分野に特化した専門WEBサイト「**環境法令.com**」を運営し、順法管理ツール「**環境法令サポート**」や「**順法チェックシートの構築・メンテ**」サービスを提供。
- 7.お問合せ先：担当者：コンサルティング事業部長 兼 EHSSコンサルタント 山崎 尚
mobile：090-4782-7653, mail：hyamasaki@ebagency.jp



- ・ 環境省「脱炭素経営促進ネットワーク」支援会員
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/network/files/S2021_ebagency.pdf
ebaパートナーとの協働や幅広いネットワークを活用し、カーボンニュートラルの実現に向けた、カーボンマネジメント、カーボンクレジット、再エネ、省エネ、CO2排出量算出クラウドサービス SaaS（ソース）を含めた「脱炭素経営ソリューション・コンサルティングサービス」やサステナビリティ経営全体のアドバイスが可能な「アドバイザリーサービス」を展開。大手企業のCNブランドデザイン策定支援等の実績あり。
- ・ 弊社ebaは「認定NPO環境リレーションズ研究所（略称：Er）」を運営しており、CSR・CSVなどの社会貢献活動プログラムや、SDGsへの取組みなどに繋がる、森林再生・地域復興プロジェクト「**Present Tree（プレゼントツリー）**」を展開。
<https://presenttree.jp/>



9. 主なebaパートナーと強み

環境ビジネスエージェンシー (eba)

カーボンニュートラル (CN) グランドデザイン策定支援、脱炭素経営ソリューション、アドバイザーサービスを提供。また、環境 (E) ・労働安全衛生 (HS) コンプライアンスやサステナビリティ (S) に関するEHSSコンサルティングサービスを提供



V社

GHG削減支援や気候変動、環境経営分野の知識と国内外の多彩な専門ネットワークを活かし、企業価値向上を目指した環境戦略コンサルティングを提供

Z社

CO2排出量算出・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供及び電力・環境価値に関するコンサルティングを提供



V社、K社、電力会社等、、、
個別具体的な省エネ・再エネ施策・取組の検討～導入の際に、必要に応じて協働



eba・Erは、
必要に応じて、
クライアントからの
様々なご相談に対し、
幅広いネットワークを
活用してベストプラク
ティスを検討・提案・
協働

E社

業務改善、品質改善、不具合対策、クレーム対策、安全衛生改善、環境改善、あらゆる現場改善をを促進するためのデジタル改善プラットフォーム「Cayzen」を提供



環境リレーションズ研究所 (Er)

ebaと両輪で運営するEr (認定NPO法人) では、森林再生・地域復興プロジェクト「プレゼントツリー」を展開。参考CO2吸収量算定、森林吸収クレジット創出、CSR・CSV等の社会貢献活動プログラム、SDGsやESGへの取組みを提案



**森林再生・地域復興
プロジェクト**
国内外33ヶ所に
243,730本を植樹

W社

中小企業向けSBT認定取得、CDP気候変動コンサルティングパートナー企業であり、環境負荷・CO2把握のプロフェッショナル集団

R社

「気候変動×情報」を中心としたTCFD開示支援、Scope1,2,3算定・削減支援、気候変動に関するコンサルティング、研修を提供

O社

サプライチェーン排出量 (Scope1,2,3) の自動算定ソフトウェア/システム (SaaS) × 気候変動コンサルでワンストップ支援サービスを提供



上記は、eba・Erのパートナー同士が、各々で協働している関係を表したものではありません

コンサルティングサービスの紹介



森林再生・地域復興プロジェクト 「プレゼントツリー」



<https://presenttree.jp/>

コンプライアンス専門WEBサイト



環境法令サービス・サポート・ツールのことなら

環境法令.com

<https://kankyohourei.com>

アドバイザリーサービス

ヒト、モノ、カネ、情報、あらゆる環境経営・資源のコーディネートや継続的なサポートが可能



持続的な企業価値向上に向けて、
環境 (E) ・労働安全衛生 (HS)
サステナビリティ (S) に関する
コンサルティングサービスの提供が可能

ISOコンサルティングサービス



ISO14001
ISO45001
ISO9001
ISO27001
SDGs × ISO14001

海外EHSS
コンサルティングサービス
海外を含めた環境 (E) ・労働安全衛生 (HS) ・サステナビリティ (S) のEHSSに関する現地アセスメント監査、相談、専門翻訳等



propharm ~ eba
Consulting

20年の経験、世界165ヶ国以上のオフィスと6,400名の専門スタッフのノウハウ・リソースやネットワークの活用が可能

脱炭素経営ソリューションサービス

- ・CO2見える化、目標設定支援
- ・太陽光発電システムの導入支援
- ・再エネ電力の購入支援
- ・カーボンクレジットの創出・販売



<https://ebagency.jp/blog/?p=6206>

サステナブル屋根工法サービス

豪雨や台風のための屋根改修・強化・石綿対策、自家発電サポートサービス



<https://ebagency.jp/blog/?p=5959>



「Present Tree」プロジェクト

大切な人へ、そして大切な地球へ。
Present Tree[®]
<https://presenttree.jp/>



ebaと両輪で運営するEr（認定NPO法人）では、森林再生・地域復興プロジェクト「プレゼントツリー」に取り組んでおり、企業のCSR・CSV等の社会貢献活動プログラム、SDGsやESGへの取組の一環として様々な協働を提案致します。



**森林再生・地域復興
プロジェクト**
**国内外33ヶ所に
243,730本を植樹**



「**REVIVE JAPAN基金**」の寄付金は、プレゼントツリーの森の在る全国各地で多発する地震や豪雨災害からの復旧～復興事業に充てられます

<https://presenttree.jp/abouts/revivejapan.php>

10. お問い合わせ先・担当者

プロフィールはこちら <https://ebagency.jp/request.html>



株式会社環境ビジネスエージェンシー

コンサルティング事業部長 / EHSSコンサルタント
JRCA登録環境審査員補(D20639)
JRCA登録労働安全衛生審査員補(OHS00283)

山崎 尚

Hisashi Yamasaki



K E S 環境機構 協働機関

K E S 関東

審査員

山崎 尚

YAMASAKI HISASHI



K E S 登録審査員 JRCA登録環境審査員補 (D20639)



森林再生を応援しています



エコアクション21
認証・登録番号0008171

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル8階

tel : 03-3296-8655 / mobile : 090-4782-7653

<https://ebagency.jp> / mail : hyamasaki@ebagency.jp

〒187-0003 東京都小平市花小金井南町1-3-11-C752

Phone : (事務局) 090-6148-1845 / URL: <http://kes-k.org>

mail : (事務局) kanto.office@kes-k.org / (個人) hyamasaki@grimmg.jp



環境法令サービス・サポート・ツールのことなら

環境法令.com

<https://kankyohourei.com/>

SDGs・ESG Consulting



G'G~eba
ISO Consulting

ISO14001・9001・27001・45001



認定NPO法人環境リレーションズ研究所 運営

大切な人へ、そして大切な地球へ。

Present Tree®

「贈り物に樹を植える」
カーボン・オフセット